

---

# 天をかける

シヒロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天をかける

### 【著者名】

シヒロ

### 【あらすじ】

ある日、幼なじみに命を救われた  
ある、魔法、守護魔法によつて  
その事がきっかけで、ある少女  
「望池早希」は守護魔法を使えるようになるため  
魔法学校に入学する  
そこでおきる、悲しくてつらい危険なストーリー

## プロローグ

とある世界、それは魔法の世界  
必ず誰もが魔法を使い、魔法とともに生きていく  
使えないものは誰ひとりとしていない  
赤ん坊でさえ、魔力をもち  
大きくなるにつれて、使いこなしていく  
それは、もちろん個人差がある

この世界に魔法は多くある  
いろんな魔法がある  
どれを使えるかで、強さや力も変わつてくる  
その力はもちろん、生まれたときから決まっている

そんな、魔法の中で特別な魔法がある

### 守護魔法

守護とともにに戦う特殊な魔法である  
その魔法を使うものは多くない  
とても強く、危険な魔法でもある  
しかし、すばらしい魔法だ。

### そんな守護魔法

そのなかでももっと

天の守護と呼ばれるものは

この世界を救い、この世界を支配すると

言われている

そんな、魔法の世界で起つる不思議な話

## 設定

### 魔法学校「ファンタジアスクール」

この学校は子供7才から15才までの子が通う学校  
中等部と初等部にわかれています、7才からか、13才から入学できる

授業は主に魔法についてだが、ほかのこともする  
かなり厳しく、クラスが多くにわけられ  
コースにわかれます

本気で魔法を使いたいが子が行くこと  
並に魔法が使いたい子が行くと  
など

寮せいで、原則も厳しい

途中でやめる生徒は少なくない

注：追加あり

主人公

- ・素直で優しく明るい女の子  
正義感が強く、守りたいと言ひ気持ちが強い
  - ・魔法はまったく使えず、学校一弱い  
学力はかなりある
  - ・魔法学校「ファンタジアスクール」に13才から入学する
- 主要人物
- 違火原作也  
いがはらわくや
- ・とにかく元氣で活発
  - うるさいと言われ、お節介なところもある
  - 口が少し、いやけつこう悪い
  - ・魔法はかなり使える
  - ・魔法はかなり使える
  - ・魔法学校「ファンタジアスクール」に7才から入学
  - ・琴羽と幼なじみ

琴羽幹来  
ことうかんらい

- ・真面目で優しく、しつかりしている  
冷静であつくなることはない

- ・魔法はかなり使える

- ・魔法学校「ファンタジアスクール」に7才から入学

- ・違火原とは幼なじみ

真川柚穂  
まがわゆずほ

- ・おとなしくやさしい
- ・強気なところがけつこつある
- ・学校一頭がいい
- ・魔法はそこそこできる

- ・魔法学校「ファンタジアスクール」13才から入学

茶沼月 さぬまるな

- ・無口なときが多い
- ・優しく、甘えん坊なところがある

- ・魔法は人並みに使える

- ・魔法学校「ファンタジアスクール」13才から入学

笹原春海香 ささははるはるか

- ・元気でおてんば、おっちょこちょいなどころがある
- ・天然で、やさしい

- ・魔法は人並みにできる

- ・魔法学校「ファンタジアスクール」に転校してくる

注・追加あり

## 登場人物

戸神秋也

とがみあきや

・正義感が強くやさしい

・彼は早希の幼なじみ

昔、何物かに村をおそわれ、早希が危険になり  
守護魔法を使って助けるが、怪我し、今も入院している

・魔法学校「ファンタジアスクール」に7才から入学  
今はずっと休んでいる

水口麻理奈

みくちまりな

・えらそうで生意氣。意地悪

・早希と同じクラスで、希をいつもばかにしている  
守護魔法を唯一この学校で使え、理事長の娘でもある

## お嬢様口調

- ・魔法学校「ファンタジアスクール」に7才から入学

## グルノ・アウルロンド

- ・明るく、やさしいが……
- ・主に早希と仲がよくいつもそばにいる  
クラスは違う
- ・魔法学校「ファンタジアスクール」に13から入学
- ・少し謎のある少年

話が進むと書きます。

•

## 第一章1話「新しいスタート」（前書き）

突然おそわれた町、私が8才の時だつた……

無力な私はなにもできることがなかつた

ただの足手まとい

だから、彼が傷ついた

私を守つて、傷ついた



## 第一章1話「新しいスタート」

私は「望池早希」今日からこの魔法学校「ファンタジアスクール」に入学します！

魔法を習う学校で、結構厳しいんだよね  
でも、私には「守護魔法」という使いこなしたい魔法があるんだ！  
だからこそ頑張る！  
あの時そう誓つたから！

・

ファンタジアスクール門前

生徒たちの声が響く

どこのクラスになつたか、なにを習つのか、ワクワクして仕方がない  
それほど、すごい学校もある

教師「静かに！クラス表を見た人から。教室に行きなさい！」

教師の声を聞くと、みんな歩きだす

早希「えっと、私のクラスは……C組か！…」

早希は、クラスを確認すると、すぐ教室に向かつた。

C組教室

早希「みなさんーはじめまして w 望池早希といいますー同じクラスですねーよろしく

教室に入るなり、元気よく挨拶をする  
だが、教室はわりと静かになる

早希「……」

あれっ、私変なこと言つたかな？

普通に言葉を言つただけなのに、注目され、なんかすうじい顔で見られている

？「貴方が、学年一、魔法ができないって噂の望池さん？」

急に、声をかけられた。

てか、なんでももう噂が……確かに私は、まったく使えない  
てか、光をだすこともできない

光をだす魔法なんて基本中の基本

4才くらい、いや3才くらいの子でもできる……

早希「えっと、うん……貴方は？」

またなんか視線が……

？「わたくしのこと知りませんの！？」「

早希「まつたく」

? 「仕方ありませんね。教えてさしあげますわ」

なんですかこの人

全然知らないんですけど、てか、見たことも聞いたこともない

? 「わたくし、  
水口 麻理奈といいますの。」

早希「へえ～よろしく麻理奈ーー！」

また静かになる……

麻理奈「何ですって……無礼者……」

急に怒鳴る麻理奈

早希「……？」

麻理奈「わたくしを誰だと想つてこられるの……！」

早希「えっと……」

作成中

元気よく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4569y/>

---

天をかける

2011年11月17日19時29分発行